

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立築港小学校

令和8年2月

大阪市立築港小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して3時間以上と回答する児童が60.9%から46.2%となり、ノーメディアウィークや学校保健委員会での保護者への啓発の成果が表れた。

本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童が84.6%であった。大阪市平均97.0%と比較すると、本校の課題と言える。

小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合が、令和5年度は79.2%であり、令和6年度は、84.5%と上回った。

経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が、令和6年度は71.6%であり、令和5年度の83.3%を下回った。

令和6年度の全国学力・学習状況調査の国語科の平均正答率の対全国比は、0.89であった。令和6年度の小学校学力経年調査では、国語科5年生は市・全国の平均を下回ったが、4年生と6年生は市・全国の平均を上回った。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、令和6年度は65.1%で令和5年度の74.9%を大きく下回った。

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、令和6年度は、年間授業日の76.9%であった。

第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合が、令和6年度は75%であり、令和5年度の56%より大幅に上回った。

経年調査の「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合が、令和6年度は68.4%であり、令和5年度の70%をわずかに下回った。

学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒に行動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が、令和6年度は97%であり、令和5年度の87%を上回った。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

スマホの危険性や適切な使い方について理解している児童を86%以上にし、健康被害、ネットいじめや犯罪被害、個人情報流出、炎上やトラブルへの巻き込まれることのないよう未然に防止する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

誰一人取り残さない学力の向上に向け、個に応じたきめ細かく継続した指導・支援を充実させ、今後4年以内に、全国学力・学習状況調査での平均正答率の対全国比を1.00以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において学習者用端末を毎日使用し、児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。また、学校図書館などの学校施設の充実・整備を進めたり、地域、保護者と連携を深めたりしながら、地域全体で子どもたちを見守り、子どもたちの健全育成を図る。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○学校アンケートにおける「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67%以上にする。
- 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上を維持する。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間を超えない。及び1年間の時間外勤務時間が360時間を超えない）を満たす教職員の割合を76%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。
- 学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒に行動が大好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合を90%以上で維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の年度目標の達成状況については、次の通りである。

【安全・安心な教育の推進】

- 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は94.1%で、目標を達成することができた。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合は88.1%で、目標を達成することができた。一部の児童は、自分自身の存在が大切であると思えていない現状があるため、今後も個に応じた対応が必要である。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、75.1%で、目標を達成することができた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比は、前年度と比較して4年生で+11.5%、5年生で+13.5%と大きく向上し、6年生についても+2.2%向上することができた。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は67.7%で、目標を達成することができた。
- 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合は93.2%で、目標を大きく上回って達成することができた。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は、年間授業日の75.2%（12月時点）で、目標を達成することができた。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合は62.5%で、目標を達成することができなかった。いじめ防止対策委員会等、児童の安全確保に関わる対応を優先したことが主な要因である。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は69.5%で、目標を達成することができた。
- 学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒に行動が大好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合は93.2%で、目標を達成することができた。

大阪市立築港小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86% 以上にする。(令和 6 年度 84.6%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 86% 以上にする。(令和 6 年度 84.5%)</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校児童がスマホの適切な使い方について理解しているかを把握するアンケートを実施する。 ・年 1 回情報モラル教育を実施する。 ・毎月ノーメディアウィークを実施する。また、学年だよりにスマホの使用時間や使い方を掲載し、保護者に発信する。 <p>指標</p> <p>本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86% 以上にする。 (令和 6 年度 84.6%) 本市調査 12 月 94.1%</p>	B
<p>取組内容②-1【安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ(いのち)について考える日」や「いじめアンケート」の実施、またスクールカウンセラー、校長室のなんでも相談室、スクールライフノートの相談機能、児童の困りごとに対して様々な選択肢を準備し、いじめの未然防止、早期発見につとめる。 ・「いのちの安全教育」の出前授業を実施し、自分の存在を大切にできるよう取り組みを行う。 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「とてもそう思う」と回答する児童の割合を 86% 以上にする。(令和 6 年度 84.5%) 令和 7 年度 88.1%</p>	B
<p>取組内容②-2【豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育、キャリア教育の充実や異学年との取り組みを通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。 ・「いいところみつけ」「幸せ宝箱」の実践を通して、自分の良いところに気付かせる。 ・歌集を用いて、音楽の時間や、すきま時間などに歌を歌う機会を設けることで、豊かな心の育成を目指す。 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73% 以上にする。 (令和 6 年度 71.6%) 令和 7 年度 75.1%</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校児童が「スマホの適切な使い方について理解していますか」の学校アンケートに肯定的に回答する割合は以下の通りであった。 <p>1 年 82.6%、2 年 88.2%、3 年 88.2%→84.2%、4 年 100%→100%、5 年 94.1%→100%、6 年 93.8%→100%と取り組みをした 2 学期には数字に表れている。※ 1・2 年生は 1 学期のアンケートを取っていない。</p>	

- ・各学年情報モラル教育を授業や出前授業で実施し、児童に関連する内容に置き換えて話をしてきた。全体の危険意識や、知識としての判断はできる児童が増えたものの、SNS を利用している当事者は自分事と思っておらず危険な使い方をしている児童もいる。
- ・毎月ノーメディアウィークを実施し、毎月の学年だよりや学校だよりでスマホ等の使用時間や目標を保護者へ啓発してきた。
- ・指標の本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 94.1%で 8 ポイント上回った。

取組内容②- 1

- ・ 5 月「いじめ（いのち）について考える日」を実施した。
1 学期にはいじめ対策委員会が立ち上げられる状況があったが、現在は解消されている。
 - ・ 9 月「いのちの安全教育」出前授業を 2・6 年生で実施した。
 - ・ 2 学期中にも「いじめアンケート」を実施した。
- 児童の困り事に対し、早期に対応してきた。
- しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して「そう思う」と肯定的に回答した児童の中には、友だちとの日常的な関わりの中で、いじめにつながりかねないような場面も見られた。自分を振り返る時間が必要である。
- また、否定的回答（あまりそう思わない）の児童が 1 %いるため、指導の継続が必要である。
- ・年間を通して、スクールカウンセラーへの接続や、なんでも相談室や保健室を活用し、児童に対して様々な相談の選択肢を提示することができた。根本解決とは至っていないため、今後も個に応じた対応が必要である。

取組内容②- 2

- ・ 1 2 月の学校アンケートでは、肯定的な回答が多くみられるようになった。
- ・ 1 月に港区長と水上消防署、キッザニア甲子園（卒業遠足）、2 月にひかり寿司のキャリア教育を 6 年生で実施した。
- ・異学年交流や歌を歌う活動を通して、豊かな心を育てることができた。友達のよいところを見つけを通して、自分のよいところに気づく活動を行った。
- ・ 6・2 月に幸せ宝箱を実施した。異学年から良いところをほめてもらえて嬉しそうな表情の子が多かった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・アンケート結果はよかったが、理解はしていても SNS を不適切に利用してしまうケースが数件あったので、そこをどうしていくかを考える必要がある。

取組内容②- 1

- ・「いじめアンケート」の結果では、目標数値を達成することができたが、一部の児童は、自分自身の存在が大切であると思えていない現状がある。
- ・いじめに関して学ぶ（ふれる）機会を増やす。
- ・日常的に、いじめについてどうとらえているか教職員からの問いかけを継続して行う。
- ・いじめに対しての指導の継続はもちろん、指導や取り組み方法の見直しが必要である。

取組内容②- 2

- ・「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、「そう思わない」と回答している児童が 4.9%もいるため、来年度、引き続き自己肯定感を高める取り組みが必要である。

大阪市立築港小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を67%以上にする。(令和6年度 65.1%)</p> <p>③ 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(新しい取組)</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始業前の反復学習の取組を通して、基礎学力の定着を図る。 ・子どもが本に興味をもち、読書を習慣づけるための環境づくりをする。 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>4年生+11.5% 5年生+13.5% 6年生+2.2%</p>	A
<p>取組内容②【健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会・運動委員会を中心に集会の時間や休み時間に全校児童で体を楽しく動かす機会を設け、運動することが好きな児童が増えるようにする。 ・なわとびタイムやかけあしタイムを設け、体育施設・体育用具を活用して運動を行う習慣を身に付けたり、進んで体力づくりに取り組んだりする機会を設ける。 ・芝生を定期的に整備し、休み時間などで児童が安全に遊ぶことができるようにする。 <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を66%以上にする。(令和6年度 65.1%) 令和7年度 67.7%</p>	B
<p>取組内容③【健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきカレンダー、歯みがき強調週間、健康週間の取組の継続。 ・健康週間(ノーマディアウィーク)にも、歯みがきの欄の振り返り視点(歯がつるつるになっている)等を取り入れ、ていねいな歯みがきにつながるようにしていく。 ・歯垢染め出しを全学年に実施し、「磨いた」から「きれいに磨けた」への歯みがき力のアップにつなげていく。 <p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(新しい取組)</p> <p>学校アンケート 12月 93.2%</p>	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの学年も国語の平均正答率の対全国比を前年度よりも向上させることができた。4年生、5年生については、前年度を大きく上回っている。 ・朝学習の時間に、算数タイム(プリントやデジタル教材「Nabima」)、国語タイム(プリント)、昼学習の時間に、国語タイム(プリントや漢字学習、意味調べ)等に取り組むことで、反復学習ができるようにし、基礎学力の向上を図ってきた。 	

・読書を習慣づけるため、校長室、保健室、理科室にも関係のある本を設置し、子どもが本に興味をもてるような環境づくりを行った。月1回程度の交換を行った。

取組内容②

- ・指標を達成することができた。
- ・委員会活動や各学年のみんな遊びを中心に体を動かす機会をつくることができた。また、なわとびタイム、かけあしタイムを実施し、児童が運動する機会を設けることができた。しかし、運動場に出て遊ぶ児童が決まっているなどの課題も見られた。
- ・芝生の整備を定期的に行ったため、休み時間には、児童が芝生の上で安全に遊ぶことができた。

取組内容③

- ・歯の健康教室、歯垢染め出し、毎月の健康週間での取組みにより、児童の歯みがきの仕方にも、変化がみられるようになった。
- ・今年度は、歯科検診を2回実施することで、1回目の結果を受けて、個々の歯みがきに対する意識も変わり、より丁寧に歯を磨こうとする児童の割合が増えた。
- ・歯垢染め出しの指導の継続と、毎月実施している保健環境委員会が作成する歯みがきカレンダーをもっと活用し、より児童の歯みがき力がアップする取組を今後も続けていく。

次年度への改善点

取組内容②

- ・学年によって休み時間に運動場で遊ぶ児童にばらつきがある。気候の関係もあり、運動場に出ず、教室に残る児童が多い時期もあった。遊びの選択肢を増やせるように用具の購入や委員会での遊びの提案等を行うこと、時期によって、休み時間に体育館を開放するなどして、児童の運動する意識を高めることができるようにする。

取組内容③

- ・学校生活アンケート「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」の結果から、「あまりそう思わない」、「そう思わない」と答えている児童が6.9%いるので、その児童の感じている視点も探りながら、全校児童の歯みがきに対する意識の向上と実践力の向上を目指していく。

大阪市立築港小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上を維持する。(事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)(令和6年度 76.9%)</p> <p>② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を76%以上にする。(令和6年度 75%)</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合69%以上にする。(令和6年度 68.4%)</p> <p>④ (令和7年度の)学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(令和6年度 97%)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>※8月以降、タブレットの持ち帰りを推進していく。(市教委方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心の天気」を毎日入力し、指導者や児童が授業内で積極的にデジタル教材を活用し、ICT活用を習慣化できるようにする。 ・1人1台端末利用状況の「見える化」に努める。 <p>指標</p> <p>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上を維持する。(事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)(令和6年度 76.9%) 令和7年度12月時点 75.2%</p>	B
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議等の精選、週1回のゆとりの日の設定、スクールサポートスタッフによる業務削減、午後5時半に留守番電話設定をすることにより、時間外勤務の時間を削減させる。相談タイムを有効活用する。 <p>指標</p> <p>第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を76%以上にする。(令和6年度 75%) 令和7年度1月時点 62.5%</p>	C
<p>取組内容③【生涯学習の支援】</p> <p>児童たちがいきいきと読書に親しめるよう、昼休みの学校図書館開放を実施。また、学級文庫を月に1回程度設置し、読書環境の充実をはかるとともに、図書委員会やお話会のボランティアによる読み聞かせなども行う。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合69%以上にする。(令和6年度 68.4%) 令和7年度 69.5%</p>	B
<p>取組内容④【家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と連携をとり、計画的に活動を実施する。 <p>1年・・・学習園(ヒマワリ)と植木鉢植え(アサガオ)</p> <p>2年・・・学習園(サツマイモ)と植木鉢植え(ミニトマト)、町たんけん、芋ほり</p> <p>3年・・・水上消防署見学、海遊館見学・アカデミー、そろばん教室</p> <p>4年・・・そろばん教室、海遊館、ちりめんモンスター</p> <p>5年・・・たまねぎ収穫、着衣泳、伝統文化、サンタマリア号乗船、大阪港見学</p> <p>6年・・・たまねぎ収穫、着衣泳、水上消防署や港区長、ひかり寿司の方の講話</p> <p>全学年・・・参観、引き渡し訓練、懇談会、築港らんらんらん、運動会、みかん狩り</p> <p>指標</p> <p>学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上で維持する。(令和6年度 97%) 学校アンケート12月 93.2%</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・心の天気の入力を習慣づけることができた。また、skymenu や Google のアプリケーションを積極的に活用することができた。
- ・ミニ研修会を行うことで有効な ICT 活用法を伝達することができた。活用率については、年度目標を達成することができた。

取組内容②

- ・スクールサポートスタッフの活用を行ったが、時間外勤務時間の基準を満たすことができなかった。達成できていない要因としては、いじめ防止対策委員会等、児童の安全確保に関わる対応があったことが影響している。

取組内容③

- ・年間を通して、昼休みの学校図書館開放を実施した。
 - ・年間を通して、図書委員会による低学年への読み聞かせや学校司書による全学年への読み聞かせを実施した。
 - ・年間を通して、学校司書や区の図書館による選書などを活用し、学級文庫を月1回程度入れ替え、読書環境の充実を図った。
 - ・11月、区図書館のボランティアによる「おはなし会」を実施した。
 - ・1月、区役所事業を活用した「絵本ひろば」を実施した。
- ・目標数値の達成は見られるが、学校アンケート「読書は好きですか」の7月と12月を比べると、84.7%→79.4%に減っており、なおかつ「そうは思わない」は6.3%→10.8%と増えている。
- また、昼休みの学校図書館開放に、来館する児童がほとんどいない実態もある。

取組内容④

- ・計画通り、地域と連携し、さまざまな活動を行うことができた。

次年度への改善点

取組内容①

- ・心の天気の入力を継続する。
- ・skymenu や Google のアプリケーション、児童用端末持ち帰りなど、心の天気以外での活用を広げていけるよう検討する。

取組内容②

- ・業務を取捨選択し、見直しを行いながら時間外勤務の削減を進めていく。

取組内容③

- ・学校図書館だけでなく、校内に図書スペースを設置するなどして、読書に親しめる新たな環境の充実を図る取り組みが必要である。

取組内容④

- ・地域とのつながりを大切にし、地域学習のねらいを明確にするとともに、内容については見直し・改善を重ねながら、今後も継続していく。